『44の例題で学ぶ統計的検定と推定の解き方』（第1版第1刷）

頁	箇所	誤	正
P. x	6.6節「例題6の学習目標」の3行目	……＜有意水準1％＞」を解く。	……＜有意水準10％＞」を解く。
P. 6	下から1行目	ここで、$\sum V(x_i)=n\sigma^2, V(\bar{x})=\dfrac{\sigma^2}{n}$ だから	ここで、$\sum V(x_i)=n\sigma^2$ で、$V(\bar{x})$ は誤差法則から、$\bar{x}$ の分散は母分散σ^2の $\dfrac{1}{n}$ に等しいので、$V(\bar{x})=\dfrac{\sigma^2}{n}$ となるから、
P. 21	1行目	$z=\dfrac{x-\mu}{\sigma}$ を2乗して、それらを合計した次の値は、自由度f（$=n-1$）の**χ^2分布**（カイジジョウブンプ）になります。 $$\chi^2=\left(\frac{x_1-\mu}{\sigma}\right)^2+\cdots+\left(\frac{x_n-\mu}{\sigma}\right)^2=\sum\left(\frac{x_i-\mu}{\sigma}\right)^2=\frac{S}{\sigma^2}=\frac{(n-1)s^2}{\sigma^2}$$	互いに独立で$N(\mu, \sigma^2)$に従うx_i（$i=1, 2, \ldots, n$）があるとき、$\chi^2=\dfrac{\sum(x_i-\mu)^2}{\sigma^2}$ とすると、この分数は自由度$f=n$の**χ^2分布**（カイジジョウブンプ）になります。もし、上式でμがわからないときは、μの代わりにその推定値$\bar{x}$を用いると、 $$\chi^2=\frac{\sum(x_i-\bar{x})^2}{\sigma^2}=\frac{S}{\sigma^2}=\frac{(n-1)s^2}{\sigma^2}$$ となり、自由度$f=n-1$のχ^2分布になります。
P. 79	「例題6の学習目標」の3行目	準1％＞」を解く。	準10％＞」を解く。
P. 163	3番目の式	$s^2=\dfrac{(n_1-1)s_1^2+(n_2-1)s_2^2}{(n_1-1)-(n_2-1)}$	$s^2=\dfrac{(n_1-1)s_1^2+(n_2-1)s_2^2}{(n_1-1)+(n_2-1)}$